



▲写真④/たくさんの人でにぎわうこけしの即売会場 写真⑤/お目当てのこけしを探す来場者 写真⑥/昭和49年(第16回)の12年後、第28回全日本こけしコンクールの様子。当時は「全日本乾めんまつり」も同時に開催(④⑤は昭和49年、⑥は昭和61年の写真)



50回目を迎えた全日本こけしコンクール。実行委員会では少しでも来場者に楽しんでもらうと、さまざまな併設イベントを考えました。歴代のポスターや、内閣総理大臣賞受賞作品の展示、テレビ東京の人気番組「開運!なんでも鑑定団」の出張鑑定、女性工人だけによる実演販売など、これまでにない催しがめじろ押しです。

こけしコンクールは、実行委員会のメンバーが、会場の準備から企画運営に至るまで「手作り」で行っています。会場のあちこちで感じられる、温かみのある雰囲気、言い換えれば人と人とのふれあいが、この催しを支えてきました。

市民の皆さん、ぜひ会場にお越しください。そして、次の50年に向けて、こけしの持つ温かさや愛らしさをご覧ください。その魅力をあらためて見つめ直していただきたいと思います。

50回の節目はボリューム満点!

◀東中学校3年の阿部みさきさんが描いた公式ポスター「桜」

- ①伝統・新型・創作こけしなど、会場でしか見られないこけしが全国から集結! 最高峰の作品をご堪能ください。
- ②「地場産品まつり」では、本市をはじめ、近隣市町などの地場産品を販売します。
- ③「こけしの実演販売」では、各系統のこけし工人たちが、その場でこけしを製作・販売します。5月5日には、初の試みとして、女性工人だけによる実演販売を行います。

■第50回実演工人(5月3・4日)

系統名	氏名	系統名	氏名
津軽系	小島 俊幸	山形作並系	会田 栄治
南部系	煤 孫盛造	鳴子系	柿 澤是隆
木地山系	高橋 雄司	遠刈田系	佐藤 一夫
肘折系	鈴木 征一	弥治郎系	新山 左京
蔵王高湯系	岡崎 幾雄	土湯系	荒川 洋一

■第50回女性実演工人(5月5日)

系統名	氏名	系統名	氏名
蔵王高湯系	梅木 直美	鳴子系	柿 澤真理子
遠刈田系	穴 郷仁美	弥治郎系	井上 はるみ
弥治郎系	新山 真由美	新型	高橋 とし子
新型	佐々木 美穂		

- ④5月4日の14時から「出張!なんでも鑑定団in白石」公開収録を実施(※観覧者の募集は締め切りました)。
- ⑤「50回」にちなんで限定こけしを販売します。50工人の5寸こけしをセットにし、抽選5名に限定販売。5月5日の午後から公開抽選会を行う予定です。
- ⑥会場内に「歴史通り」を創設。歴代のポスターや、歴代内閣総理大臣賞受賞作品を展示するほか、第1回(昭和34年)から第49回(平成19年)までの出来事を掲示。当時の懐かしい物品も展示します。

- ⑦会場内に設ける「いこいの広場」では、琴の演奏やこま回しの実演、生け花展示などを予定しているほか、お茶の野点席も設ける予定です。ぜひお立ち寄りの上、楽しいひとときをお過ごしください。
- ⑧今年も「こけしの絵付け体験コーナー」を設けます。自分だけのオリジナルこけしを作ってみませんか?
- ⑨第10回写真コンクールを開催します。こけしを題材にした写真であれば、どんな写真でも構いません。現在、応募作品を募集しています。詳しくは25ページをご覧ください。
- ⑩「細田満夫写真展」を開催。蔵王山ろくの美しい風景と、そこに住む小動物などの写真をぜひご覧ください。
- ⑪ソニーの大型ハイビジョンテレビでプレイステーション3を体験できるほか、「甲冑工房片倉塾」の皆さんによる、段ボール製の甲冑を試着することができます。
- ⑫戦国ゲームで話題の片倉公。会場内で関連グッズを販売するほか、屋外に「片倉小十郎バス」を展示します。
- ⑬壽丸屋敷では、5月3日から5月5日まで「ミニこけし展」を開催。こけしの企画展や実演販売なども行います。
- ⑭5月4日・5日には、会場と白石駅・白石蔵王駅を結ぶ「レトロバス」が市内を巡回します。
- ⑮今年も展示場・即売場一番乗りの方各1名に、1尺5寸のこけしを贈呈するほか、先着100名に記念品を贈呈。また、5月3日・4日には、緑の募金にご協力いただいた来場者の皆さんに、数量限定で緑化木をプレゼントします。
- ①~⑮のほかにもイベント多数。ぜひお越しください。

お問い合わせは

全日本こけしコンクール事務局

(商工観光課内) ☎22-1321まで

市民に愛され、支えられて半世紀

第50回全日本こけしコンクール

~ほほえみの年輪を重ねて~

入場無料



●日時 5月3日(祝)~5日(祝)、9:00~17:00 ●場所 ホワイトキューブ
※審査品の一般見学は5月3日の10時からになります。

▲公式キャラクター「こけっち」



▲昭和49年5月、入場を心待ちに行列をつくる市民。1年に一度行われる、大きな楽しみの一つでした。

市民と共に歩み、そして輝き続けた50年

昭和34(1959)年4月16日、白石市公会堂(後の市民会館、現いきいきプラザ)で第1回全日本こけしコンクールが開催されました。皇太子明仁親王と正田美智子さん(現在の天皇・皇后両陛下)のご成婚を祝して行われたこの催しは、その後本市を代表する一大イベントとなり、「こけしのふるさと白石」を全国にアピールする舞台として定着、今に至っています。

この2ページに掲載した写真は、一部を除いて昭和49(1974)年に行われた第16回コンクールのものです。市民会館前に行列をつくる市民、子ども連れでお目当てのこけしを購入する父親、そして初代市長の故・麻生寛道氏。いずれも今は懐かしい、思い出の一コマです。

最初の開催から半世紀。時代は大きく変わりましたが、常に市民と共にあり、白石を愛する人々に支えられながら、50年目のメモリアルを迎えました。

市民の皆さん、全国の工人たちが腕によりを掛けた力作の数々を目の当たりにしながら、この50年のまちの歩みと、自らが歩んできた道を振り返ってみてはいかがでしょうか。



▲写真①/会場内でおどける子どもたち 写真②/テープカットを行う初代市長の麻生寛道氏(写真中央)。写真左は当時の商工会議所会頭・銭谷周治郎氏、写真右は宮城県商工振興課長の赤倉満氏 写真③/人込みであふれる市民会館の入り口付近(①②③いずれも昭和49年の写真)